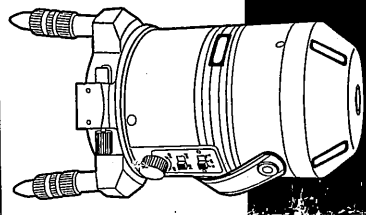


LASER MULTI LINE

レーザーマルチライン LMX-500i

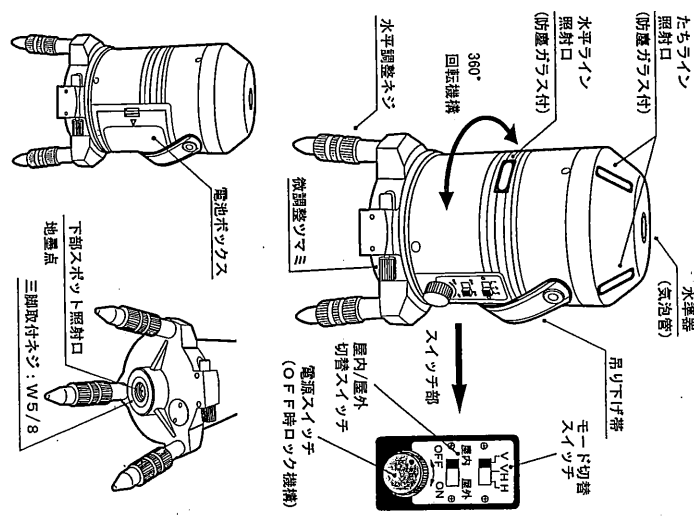
取扱説明書

この度は、BIG レーザーマルチライン (LMX-500i) をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前にあたっては必ず本書をお読みいただき、ご使用される方がいづれでも見ることが出来る場所に必ず保管してください。よろしくお願いいたします。



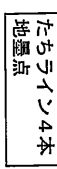
	注意 このレーザーは製品の取り扱い誤った場合に使用者が被害を負う危険および物的損害の発生が想定される事を示します。
	危険 このレーザーは安全上「禁止」内容を示します。

各部の名称

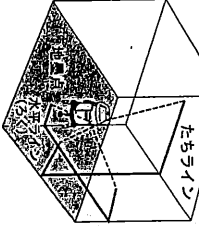
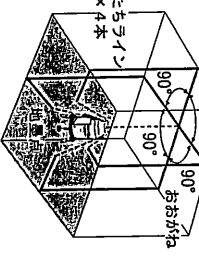


レーザー投影機 屋内/屋外切替

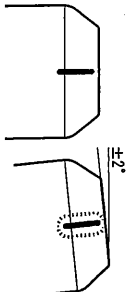
●Vモード時



●Hモード時



●Hモード時



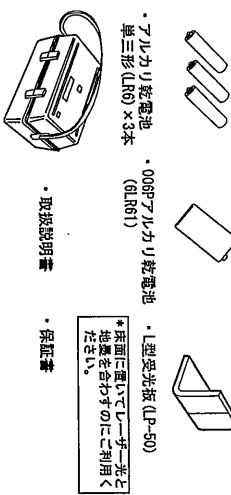
傾斜が正常時
傾きがある時
レーザー光が点滅

レーザーマルチライン本体が約±2°まで傾くとレーザー光及び下部スロットが点滅し、水平ではないことを警告します。

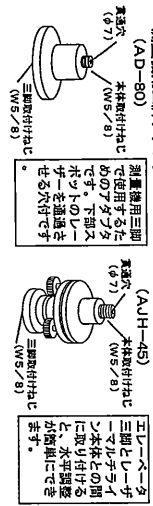
標準付属品



※レーザーリシーバー (LP-20) については付属の取扱説明書をご覧ください。



●オプティオン



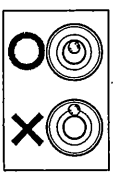
●LMX-500i

光源	650nm赤色半導体レーザー (波長: 650nm)
出力	1.0mW以下 (クラス2)
線幅	1.5mm/5m (3mm/10m)
指示精度	±1mm以下/10m
自動補正範囲	±3°
傾斜アラーム	約±2°でレーザー光を点滅 磁気制動方式
制御方式	360°
本体回転範囲	約±1°
角度微調整範囲	アルカリ乾電池 単三形 (LR6) ×3本
電池寿命 (20°C)	Vモード時連続 約10時間 Hモード時連続 約9時間 Hモード時連続 約52時間
屋外最大到達距離	約200m (専用リシーバー使用)
本体寸法	φ135×H121 (mm) (端子部φ60)
本体質量	2.0kg (電池含む)

※アルカリ乾電池専用です。他の電池はご使用できません。※仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合がございます。

使用方法

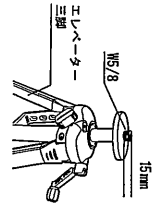
- 電池のセット方法
 - 電池ボックスのカバーのツマミ部を左方向に押さえてカバーを開き、電池ボックスよりカバーを取り外してください。
 - 電池ボックスの底部に明記されているように、付属のアルカリ乾電池 (LR6) 3本を①側を上側にセットしてください。
 - 電池セット後、カバーの凸部を電池ボックスの凹部に差し込み、カバーの取り外し時同様に、ツマミ部を矢印方向に押さえ、カバーを閉めてください。
- 電源をONにします。
 - スイッチ部のモード切り替えスイッチをVにすると、たちライオン4本・地盤点が照射されます。通り窓、おおねが照射されます。
 - モード切り替えスイッチをV/Hにすると、たちライオン・水平 (左右) ライン・地盤点が照射されます。
 - モード切り替えスイッチをHにすると水平ラインが照射されます。
- 水調整器の調整が水平出しを行います。
 - 調整器が赤点内に入れば、中心でなくても傾斜自動補正機構が働きます。(±3°以内)
- 電源をONにします。
 - スイッチ部のモード切り替えスイッチをVにすると、たちライオン4本・地盤点が照射されます。通り窓、おおねが照射されます。
 - モード切り替えスイッチをV/Hにすると、たちライオン・水平 (左右) ライン・地盤点が照射されます。
 - モード切り替えスイッチをHにすると水平ラインが照射されます。
- レーザー光が薄かったり、赤やけたりする時は、メガネ拭き用の柔らかい布や綿棒で照射口のガラス部分を清掃してください。
- レーザー光をより見やすくするために、付属のレーザーグラス (LR-10) 紫色アクリル製) をご使用ください。
- 本体を持ち運ぶ時には、必ず電源スイッチをOFFにして専用収納ケースに入れて移動してください。



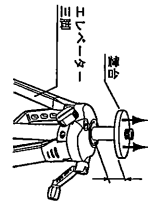
危険

ご購入直後や長期間休ませた後に使用される場合は、ロツク機構で使用しているラバー断衝材とシャイロ部が密着している場合があります。数回本体をゆらゆら揺らすことにより、レーザー光が自然に静止することを確認してからご使用ください。長期間ご使用にならない場合は、乾電池を取り外して専用収納ケースに入れて保管してください。

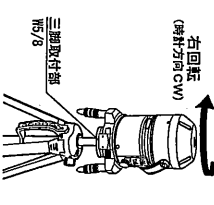
三期をお使いの場合は、別巻のBIGレーザー三脚専用のエレベーター三期 (BH-T1500) をご使用ください。



1. 市販の脚/ネジ付三期を使用される場合、接続するネジの部分の長さ出し長さが15mmを超えないようお願いいたします。



2. エレベーター三期にレーザー三脚を取り付ける場合は、初期状態で約30mm上げた状態で取り付けください。上げない状態で取り付けると調整脚と昇降機構が壊れます。

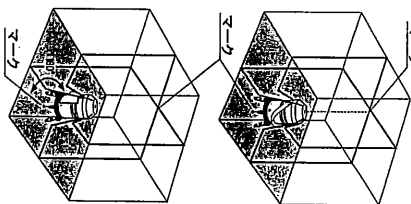


3. レーザー三脚を取り付ける際は、必ず右回転で調整してください。本体を左回転させるとレーザー三脚の調整脚が壊れます。

エレベーター三期 (BH-T1500) のご使用については専用の取扱説明書をご覧ください。

● 上下鉛直点の点検

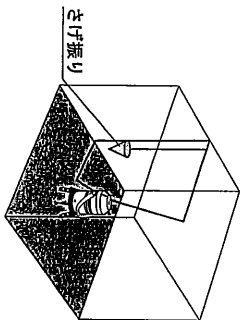
- 1. 天井が90°程度の高さで、振動が無くできるだけ平らな場所を選びます。
2. 水準器の気泡が赤丸内になるよう、水平調整脚で調整し水平出しを行います。
3. 電源スイッチをONにします。モード切り替えスイッチをVモードにし、レーザー光の狙いが停止後地盤点(下部スポット)と鉛直点(上部た巻がクロスした位置)をマークします。
4. 本体を180°回して地盤点(下部スポット)をマーク位置に合わせてみます。
5. 鉛直点を見て3.でマークした位置とのズレが無いことを確認し、ズレが±1mm以内であれば許容範囲です。
6. ズレが許容範囲を超えている場合は、調整・修理が必要ですので販売店を通じてBIGへご相談ください。



※気泡が赤丸内に入れば、中心でなくても傾斜自動補正機構が働きます。(±3°以内)

● たちラインの点検

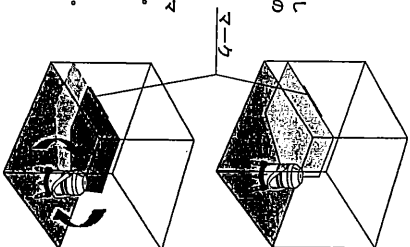
- 1. 天井が90°程度の高さで、振動が無くできるだけ平らな場所を選びます。
2. 水準器の気泡が赤丸内になるよう、水平調整脚で調整し水平出しを行います。
3. お手持ちのさげ振りを実際にセットし、レーザー光をさげ振りの糸に合わせます。
4. さげ振り糸とレーザー三脚の鉛直が許容範囲内であればそのままご使用ください。許容範囲を超えている場合は、調整・修理が必要ですので販売店を通じてBIGへご相談ください。



※気泡が赤丸内に入れば、中心でなくても傾斜自動補正機構が働きます。(±3°以内)

● 水平ライン (ろく) の点検

- 1. 振動の無い壁面のある場所、床面のできるだけ平らな場所を選んでください。(3カ所の脚を全てねじ込んでください) 置いたとき、気泡が赤丸からはみ出さない(所)
2. 本体を壁面から約20cmの所に置きます。
3. 電源スイッチをONにします。モード切り替えスイッチをHモードにして、壁面に向けて照射し、中心付近のラインに合わせてマークを付けます。
4. 本体を左右に回してラインの高さをマーク位置と比較してズレを確認します。
5. ズレが±1mm以内であれば許容範囲です。
6. 直角 (水平) 精度並びに傾きが許容範囲を超えている場合は、調整・修理が必要ですので販売店を通じてBIGへご相談ください。



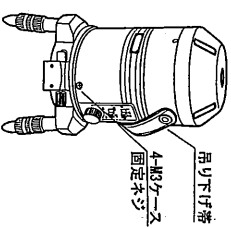
※気泡が赤丸内に入れば、中心でなくても傾斜自動補正機構が働きます。(±3°以内)

使用上の注意

アルカリ乾電池の特性として電池寿命が近々きまると急激に電圧が低下します。電圧が低下すると、複数のレーザーラインを照射している場合は、いずれか1つのみ発光に留まる場合、または点灯しない場合があります。これは、レーザー個々の特性により動作電圧に差が生じるため、レーザーの故障ではありません。電池寿命ですので、単三形アルカリ乾電池3本を同時に交換してください。

本体が転倒した場合、衝撃によりケースを固定している脚ネジごに破損が加わりケースが破損になる場合があります。

部の水準器の表示がズレて正しくご使用できない場合があります。ケースを上方から押さながらお所の脚ネジをドライバーで締めてください。本体のレーザー光がズレた場合は、修理をご依頼ください。



吊り下げ帯は、消耗品です。伸びたり取り付けのための穴が広がったりした場合は、アルミ本体から外れたり切れたりすることがあります。その場合は、アルミ本体が落下して壊れたり、足の上に落下してケガをする恐れもありますので、新品の吊り下げ帯をお買い求めの上お取り替えください。

本機は防塵設計になっていますが、防水構造ではありませんので本体への浸水にはご注意ください。本体水準器の気泡はできるだけ赤丸内に入るよう、水平調整を行ってください。電源スイッチはON・OFFの位置まで確実に回してください。

直射日光の当たる場所や、高温となる場所など50°Cを超える環境では、レーザーの消費電流が過大となり、性能や寿命を劣化させ、故障の原因となりますので使用しないでください。

本機を持ち運ぶ時やご使用後は、必ず電源をOFFにしてください。

レーザー光が弱くなったなら、電池寿命ですので単三形アルカリ乾電池の本を同時に交換してください。

レーザー光照射口の防塵ガラスが汚れた場合は、メガネ拭き用の柔らかい布や綿棒で軽くホコリを拭き取ってください。

● 使用上の注意

水平調整脚は使用後、いったん折れじ込んでおいてください。ゆるめすぎたまま持ち運びますと脱落、紛失の恐れがあります。本機は精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないでください。また、ご使用後は必ず収納ケースに入れ、保管してください。

本機は精密機器のため、お客様の方での分解・改造を行わないでください。性能や寿命を劣化させる原因にもなり保証できません。

長期間ご使用にならない場合は、電池を取り外してください。

精度が狂ったり、不具合が発生した場合はご使用中を中止し、ご購入先を通じてBIGへ修理、点検にお申しください。

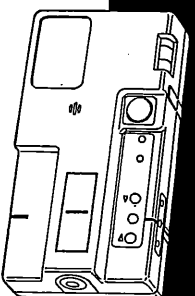


大昭和精機株式会社

Table with columns for company name, address, phone number, and fax number for various branches across Japan.



**LASER
RECEIVER**
レーザーレーザー
LR-201



取扱説明書

この度は、BIGのレーザーレーザーLR-201をお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前にあたっては必ず本書をお読みいただき、ご使用される方がいっても見る事ができる場所に必ず保管していただき、ご使用をお願いします。

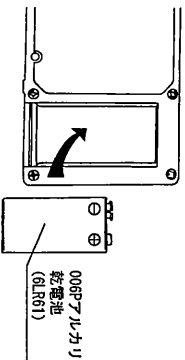
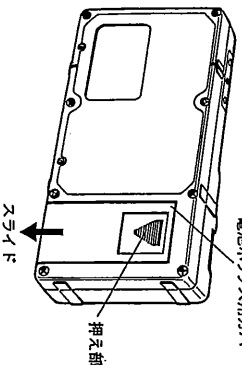
注意 このレーザーは製品の取り扱いは誤った場合に使用者が傷害を負う危険および物損被害の発生が危惧される事を示します。

危険 このレーザーは安全上ではいけない「禁止」内容を示します。

操作方法

●電池の取り付け

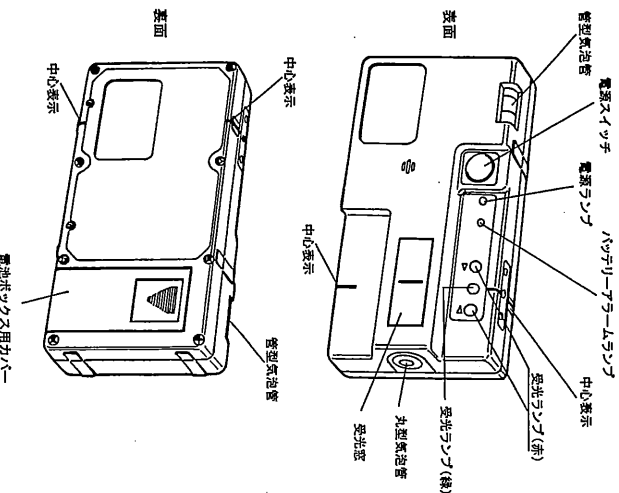
電池ボックス用カバーをスライドさせ取り外してください。押え部を軽く押しながら、下方へスライドしてください。



017アルカリ乾電池の④端子を確認した後、電池ボックスの⑤端子に合わせ入れてください。

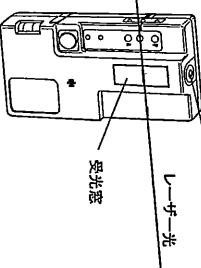
各部の名称

●LR-201

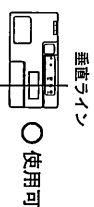


●受光方法

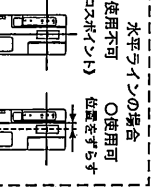
レーザーレーザーの電源スイッチを入れ、受光器をレーザー光に向け架装します。レーザーレーザー上に、気流管がありますので、レーザーレーザーが水平になるようにしてください。



注意 受光する場合は、図のようにレーザー光が受光器に対して必ず横切る方向で受光してください。

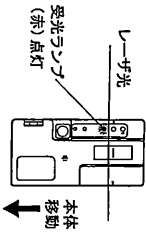


使用不可 モータースイッチを「VH」にてレーザーレーザーでの受光を行う場合は、水平ランプより位置をずらすのクロスができません。クロスがVHにては正確に受光することができません。

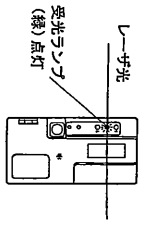


受光方法

受光器でレーザー光を受けると受光ランプ(赤)が点灯します。受光ランプ(赤)が点灯したときは、中央位置より若干受光位置がずれています。受光ランプ(赤)が点灯するときに、レーザーレーザーを移動してください。

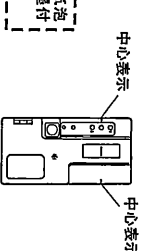


受光ランプ(緑)が点灯すると、レーザーが鳴ります。レーザー光が受光器上の中心表示に一致したことを示します。



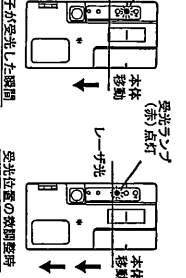
この時、受光器の中心表示が、レーザーレーザー上の気流管で水平を確認した後、裏付けを行ってください。

注意 レザーレーザー上の気流管で水平を確認した後、裏付けを行ってください。



●調整時の受光ランプ(緑)点灯について

レーザーレーザー本体を移動させ受光位置の調整を行う際に、受光器が6m以内の場合受光ランプがVHで受光したときは、受光ランプ(緑)が点灯しますが、使用を開始してはいけません。使用を開始する前に、受光器を調整してください。



仕様および使用上の注意

●仕様 LR-201

検出動作範囲	約20m(直射日光下でも使用可能)
表示	赤色ダイオード(左右2個) 緑色ダイオード(中央1個)
ランプ	緑色ダイオード点灯時 (レーザー中央受光器)
検出表示範囲	中心表示: 緑色ダイオード点灯 ランプ一音
電池	006Pアルカリ乾電池(6LR61)
電池寿命	連続20時間
使用温度範囲	0°C~45°C
寸法	W140mm×H225mm×D70mm

※仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合がございます。

警告

1. 受光するときにレーザー光を直接のぞきこまぬようにしてください。

1. ご使用前に、必ず受光側のレベル調整の確認をしてください。
2. 受光する際は、必ず水準器で水平を確認してください。
3. 本機は防護構造となっておりませんが、防水構造ではありません。
4. 本体への浸水にはご注意ください。

保守と点検

●各部取付ネジの点検
ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締め直してください。

●使用後の手入れ
●長期使用しない場合は、電池を取り外してください。
●レーザー受光器が汚れた場合は、メガネ拭き用の柔らかい布で、軽くホコリを拭き取ってください。
●本体の汚れは、乾いた布か石けん水をつけ、よくしぼった布で拭いてください。
●カマリン、シロアリ、石油類での汚損は、本体をいためます。
●高温にならない場所に保管してください。

高 位 合 衆
品 位 限 有 限 公 司
大昭和精機株式会社
大阪府西成区野田3丁目4番39号
TEL. 0729(82)1748 FAX. 0729(87)1748

支店名	住所	TEL.	FAX.
大阪支店	大阪府西成区野田3丁目4番39号	0729(82)1748	0729(87)1748
京都支店	京都府京都市中京区河原町二丁目1番10号	075(24)231960	075(24)231970
東京支店	東京都中央区新富町二丁目1番10号	03(5561)1160	03(5561)1165
名古屋支店	名古屋市中区栄三丁目1番10号	052(233)1160	052(233)1165
福岡支店	福岡市中央区天神二丁目1番10号	092(713)1160	092(713)1165
札幌支店	札幌市中央区南一条西五丁目1番10号	011(238)1160	011(238)1165
仙台支店	仙台市青葉区中央二丁目1番10号	022(252)1160	022(252)1165
仙台支店	仙台市青葉区中央二丁目1番10号	022(252)1160	022(252)1165
仙台支店	仙台市青葉区中央二丁目1番10号	022(252)1160	022(252)1165
仙台支店	仙台市青葉区中央二丁目1番10号	022(252)1160	022(252)1165
仙台支店	仙台市青葉区中央二丁目1番10号	022(252)1160	022(252)1165
仙台支店	仙台市青葉区中央二丁目1番10号	022(252)1160	022(252)1165